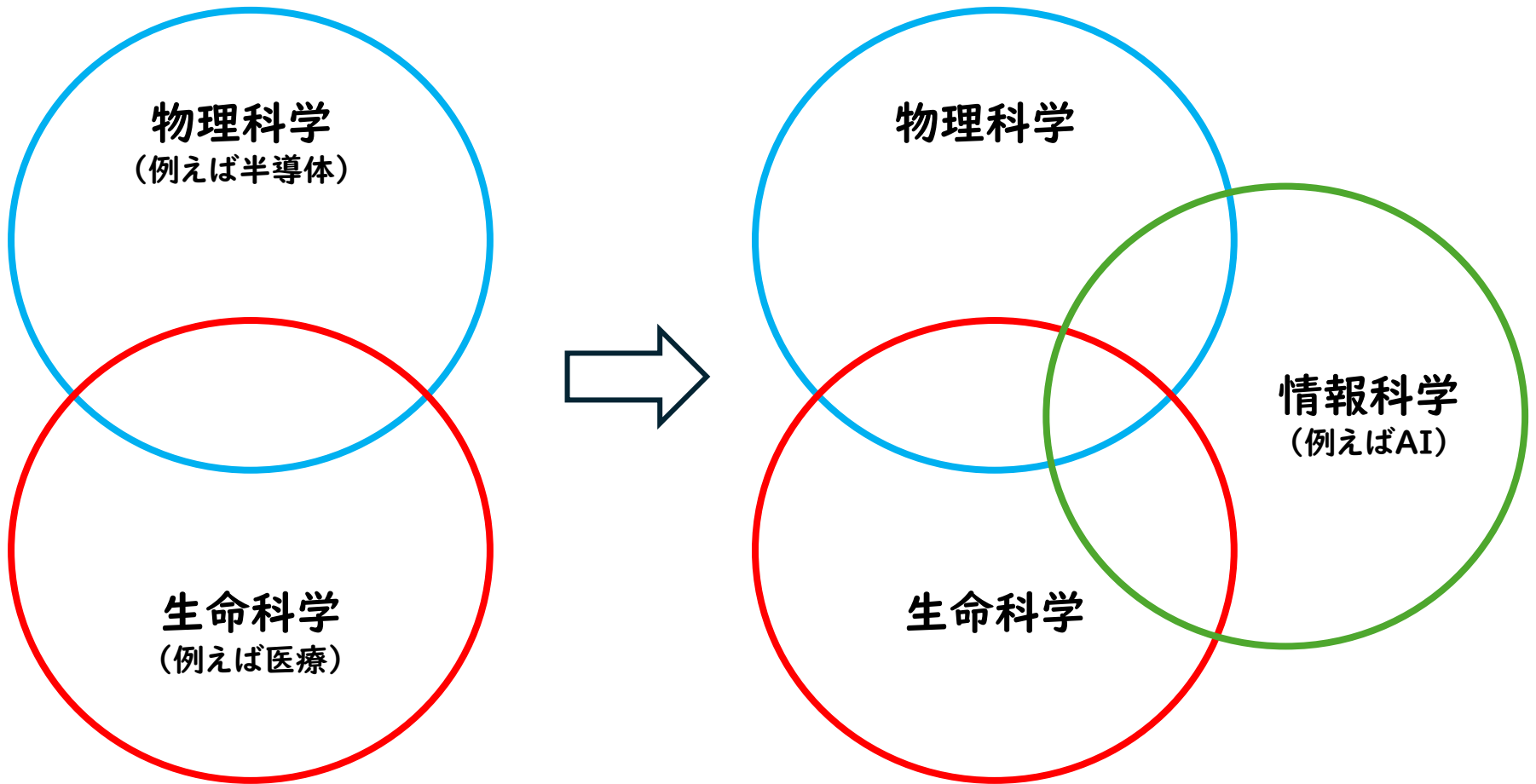


JST 理事長記者説明会

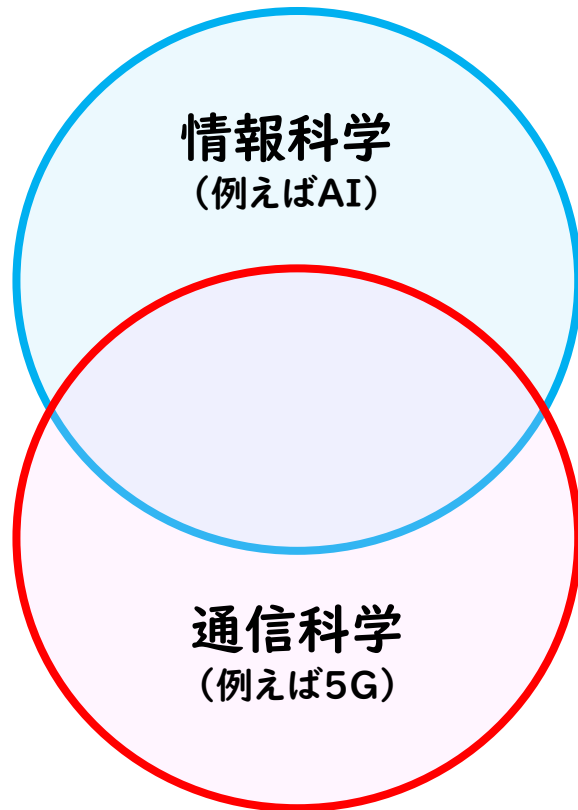
令和7年3月14日



科学の分類と進化



情報科学と通信科学



情報科学: データ生成、処理、保存、分析、利用

情報と通信の相互依存:

- ・クラウドコンピューティングとネットワーク
- ・AIと通信ネットワーク
- ・IOTとエッジコンピューティング
- ・量子コンピューターと量子通信の融合

通信分野: データ転送、ネットワーク技術

情報通信分野への取り組み

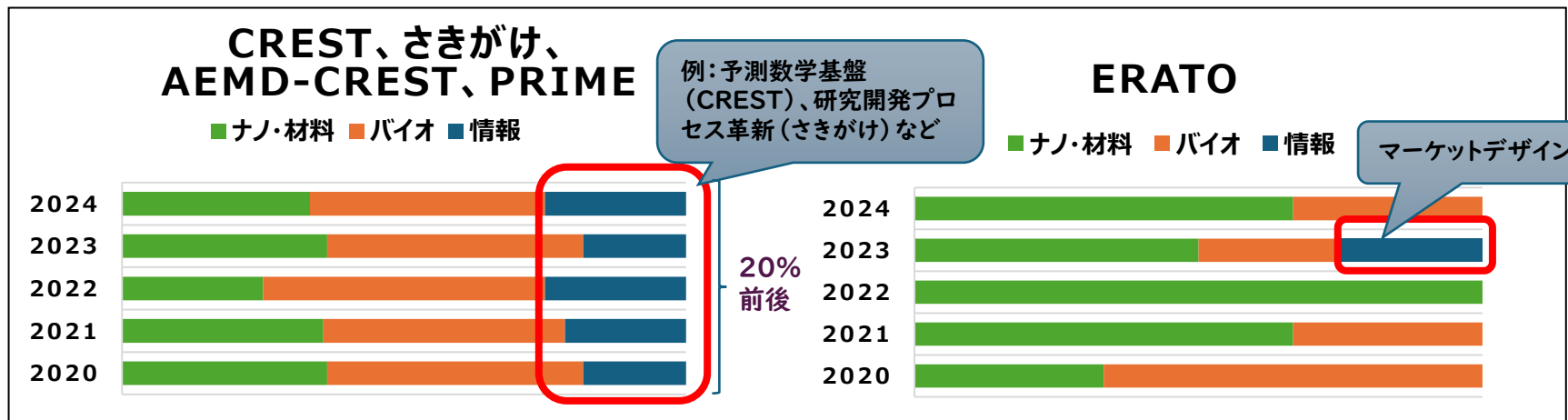
- 文部科学省の戦略目標等に基づく事業（CREST・さきがけ・ERATO等）において、情報系分野への取り組みは十分とは言えない
- また情報系分野においては、AI・数理等が中心で、通信に焦点を当てた領域は無かった



2023年度～
ASPIREの分野に「通信」を創設



2024年度～
通信を対象にした新プログラムとしてCRONOSを創設



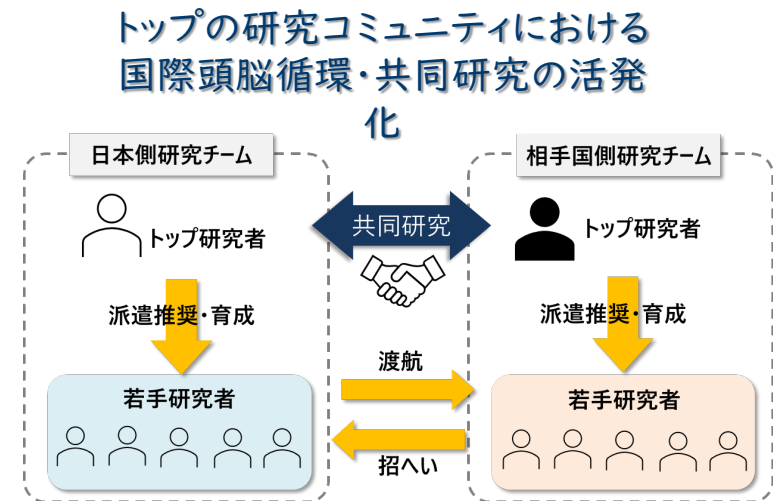
図：直近5年間の新規発足領域の分野別割合

先端国際共同研究推進事業 (ASPIRE)

政策上の重要分野における科学技術先進国・地域との国際共同研究を通して
国際ネットワーク構築・国際頭脳循環に資する若手研究者の育成

＜日本側研究者による相手側研究者との国際共同研究課題を公募＞

研究分野	AI・情報、バイオ、エネルギー、 マテリアル、量子、半導体、 通信	公募中
対象国・地域	オーストラリア、オーストリア、ベルギー、 カナダ、チェコ、デンマーク、EU、フィンランド、フランス、ドイツ、イタリア、オランダ、 ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、韓国、 スペイン、スウェーデン、スイス、英国、米国	
支援規模 (間接経費含む)	TopのためのASPIRE 最大5億円／5年 次世代のためのASPIRE 最大9,000万円／3年間	
採択実績	2023年度:46件 (通信分野は7件) 2024年度:32件 (通信分野は3件)	



通信分野 研究領域: デジタル社会に対応した次世代インフラの整備に資する情報通信技術の研究

通信分野PO: 山中 直明 慶應義塾大学 特任教授、電子情報通信学会 会長

通信分野2023年度採択課題 「次世代サイバーインフラのインクルーシブな創成」

日本側研究代表者 中尾 彰宏 東京大学 大学院工学系研究科 教授

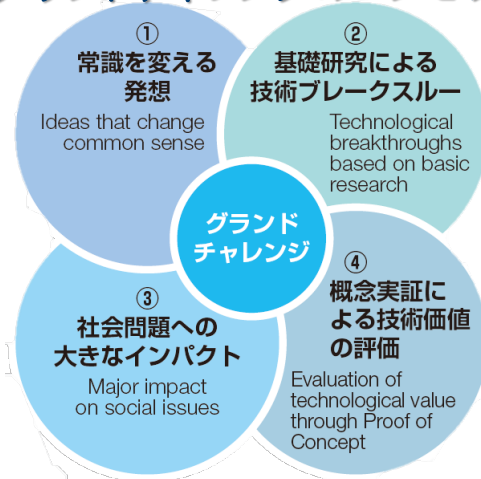
相手側研究代表者 (フィンランド) マッティ ラトヴァーアホ オウル大学 電子情報工学部 教授

戦略的創造研究推進事業 情報通信科学・イノベーション基盤創出 (CRONOS)

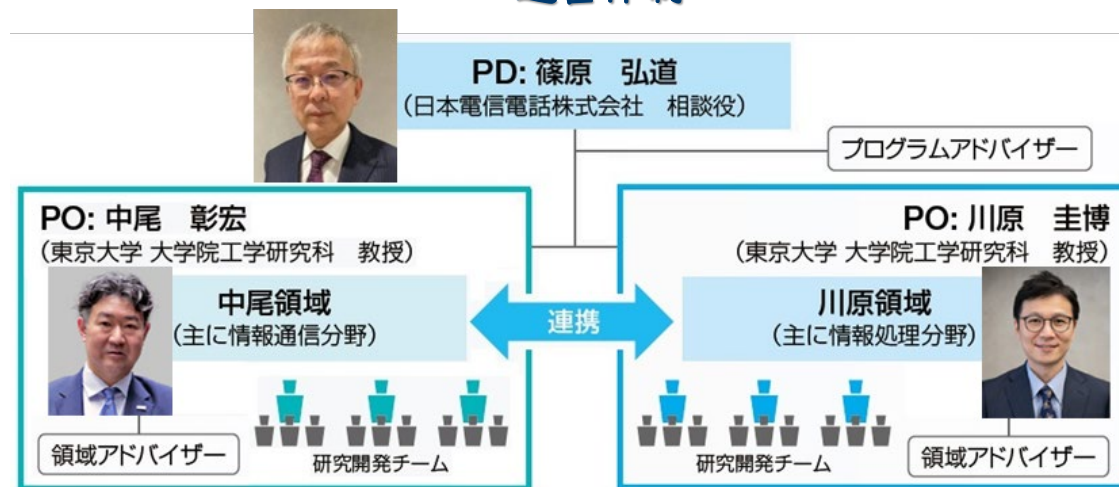
革新的な情報通信技術の創出と研究人材育成に取り組み、
我が国の情報通信技術の強化を目指す

挑戦的な目標(グランドチャレンジ)を設定し、その貢献に向け、基礎研究と応用研究の垣根を越える運用スキームにより、社会変革につながる基礎研究とその成果の概念実証(POC)等を促進

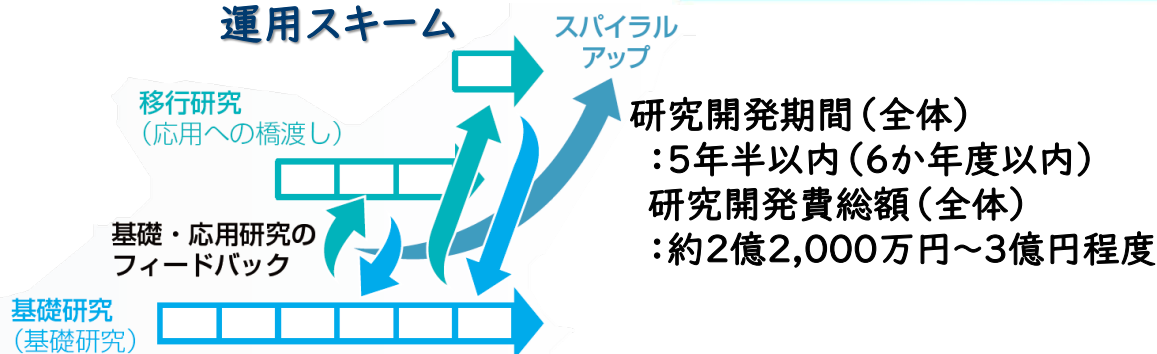
グランドチャレンジのコンセプト



運営体制



運用スキーム



公募中

- 募集締切 2025/5/21 正午
- 募集説明会 2025/4/8 15:00~
(Zoomウェビナー)